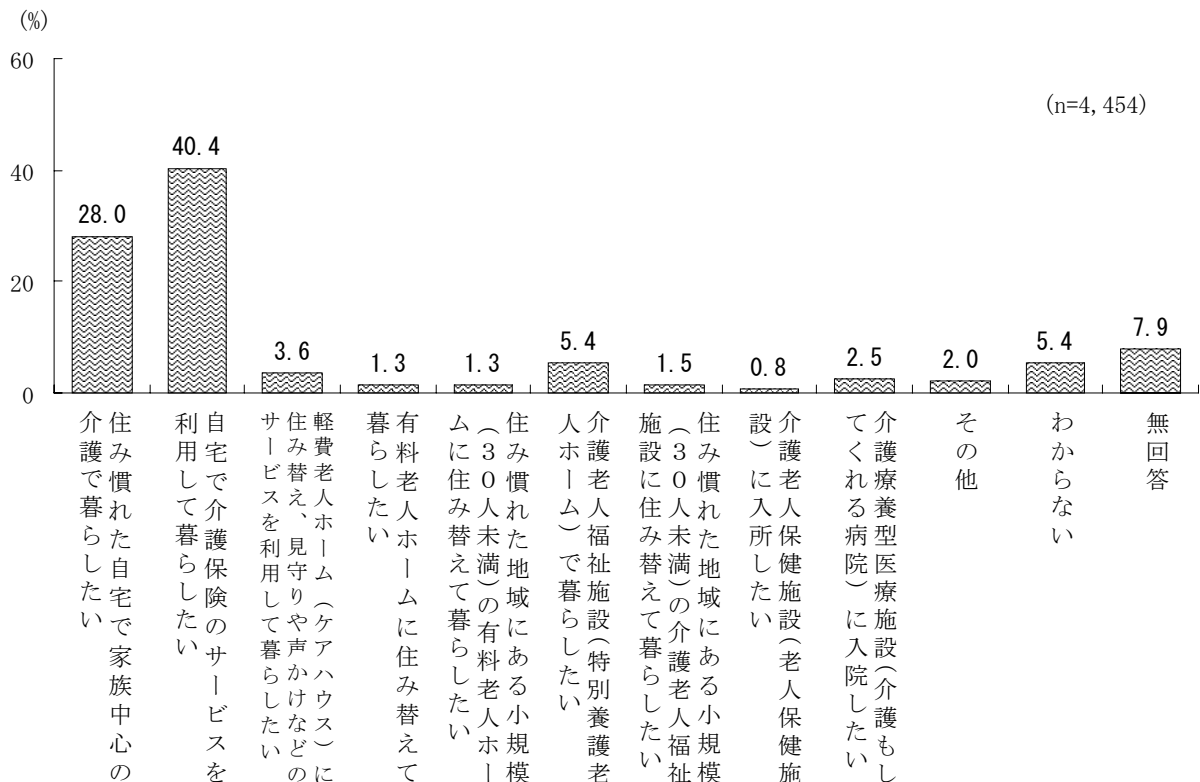


4. 今後の生活と介護サービスの改善方向

4-1 今後の生活についての希望

問21 あなたは、今後の生活についてどのようにお考えですか。（○は1つ）

図4-1 今後の生活についての希望



今後の生活についての希望としては、「自宅で介護保険サービスを利用して暮らしたい」が40.4%で最も多く、これに「住み慣れた自宅で家族中心の介護で暮らしたい」（28.0%）が次いでいる（図4-1）。

居住地域別でみると、すべての地域において「住み慣れた自宅で家族中心の介護で暮らしたい」と「自宅で介護保険のサービスを利用して暮らしたい」の2項目が高くなっている。特に矢切地区では「自宅で介護保険のサービスを利用して暮らしたい」が5割を占めている（図4-2）。

図4-2 居住地域別 今後の生活についての希望

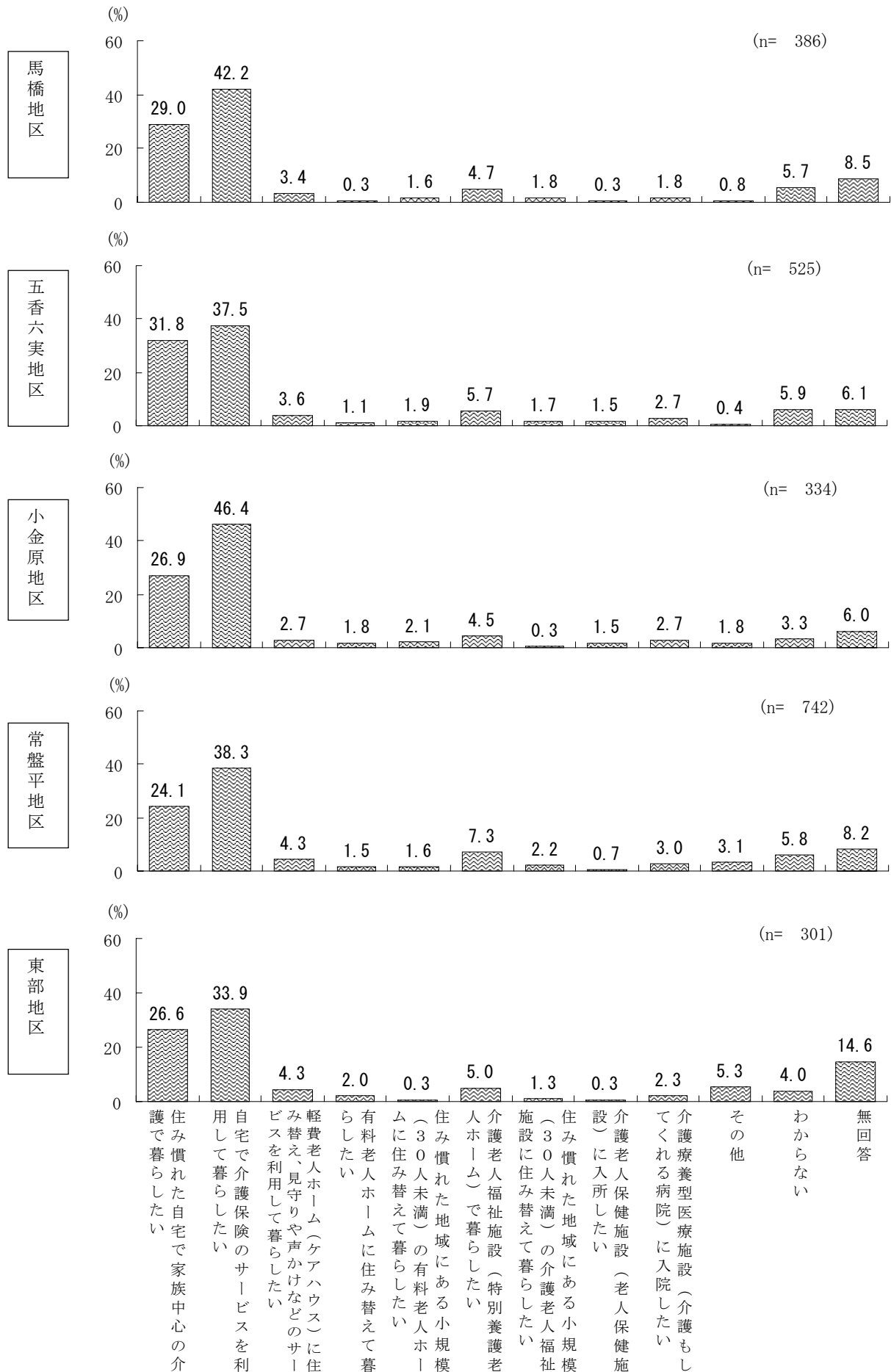


図4-2 居住地域別 今後の生活についての希望（つづき）

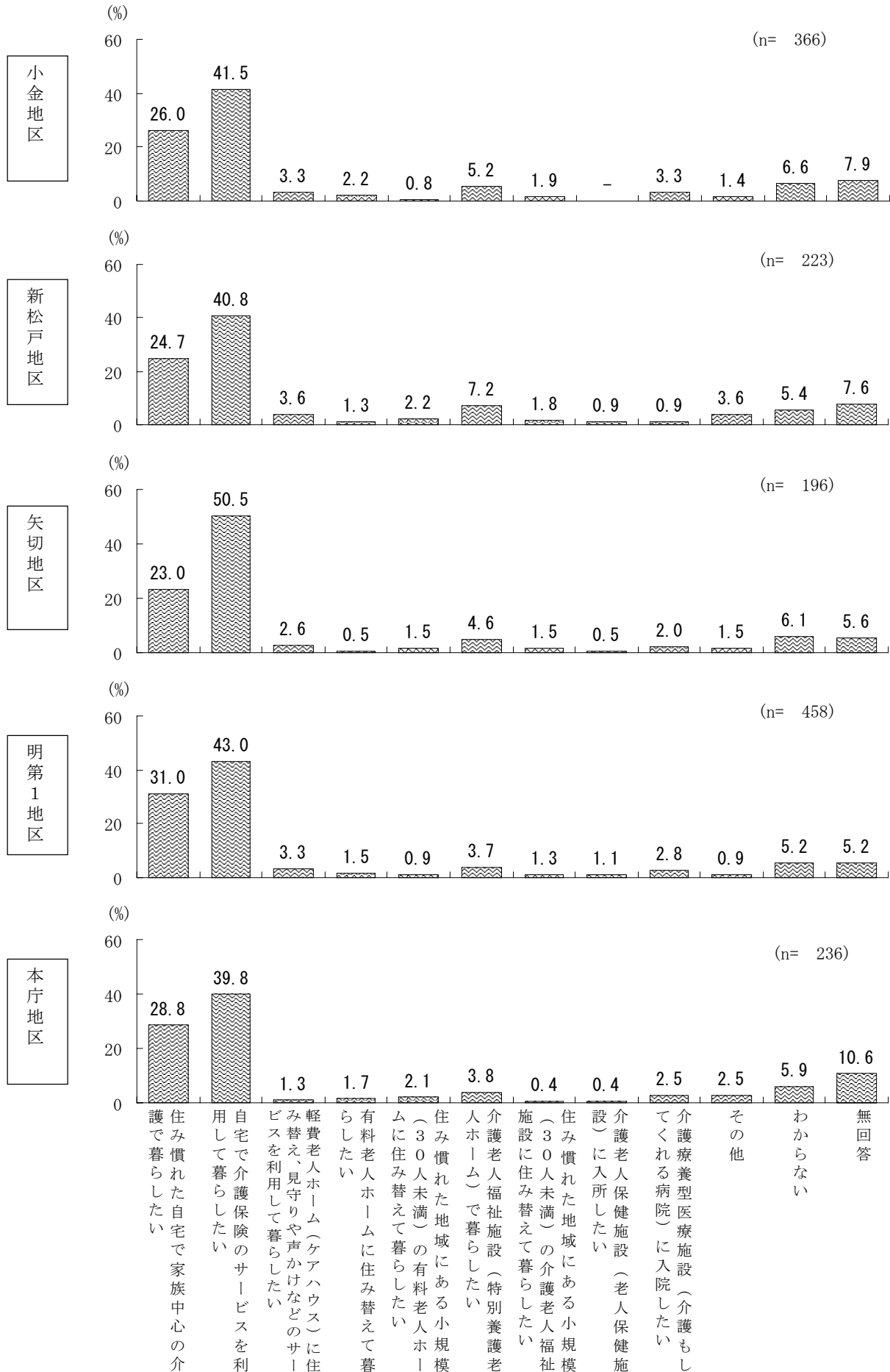
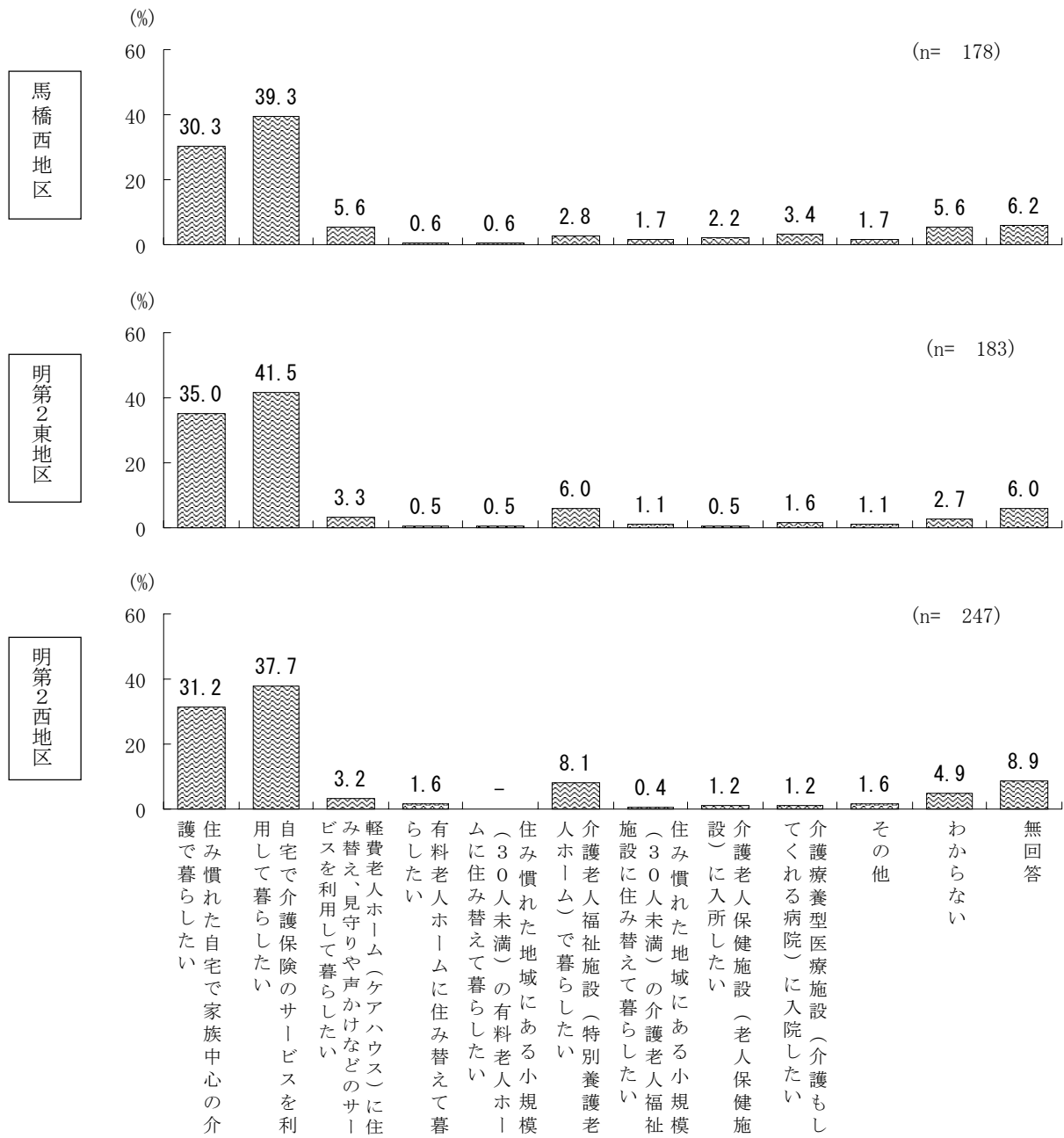


図4-2 居住地域別 今後の生活についての希望（つづき）



介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

要介護度別でみると、要介護3以上になると「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で暮らしたい」が1割前後と、やや多くなっている。また、要介護5では「介護療養型医療施設（介護もしてくれる病院）に入院したい」という人も6.0%と、他の介護度の人に比べてやや多くなっている（図4-3）。

図4-3 要介護度別 今後の生活についての希望

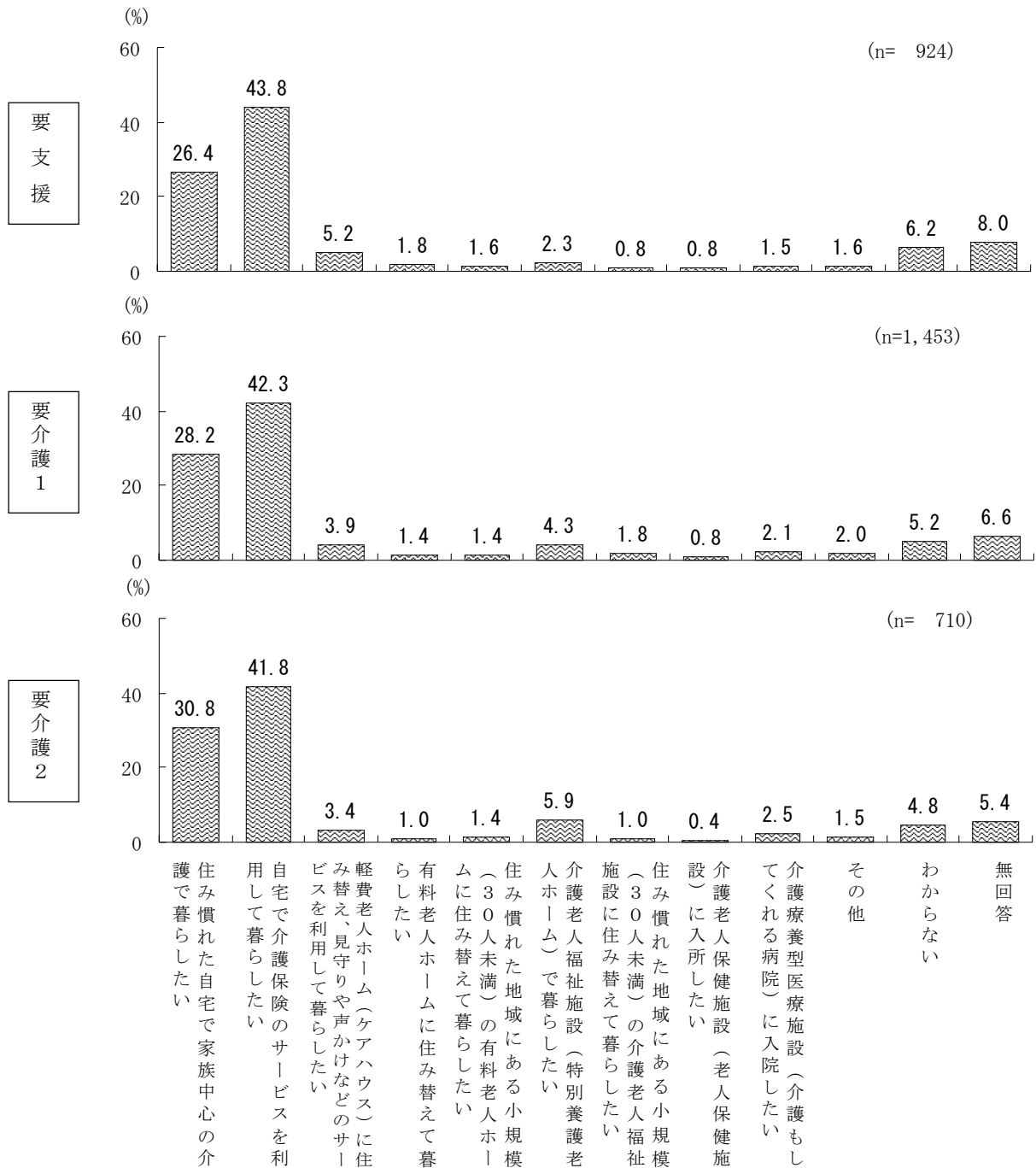
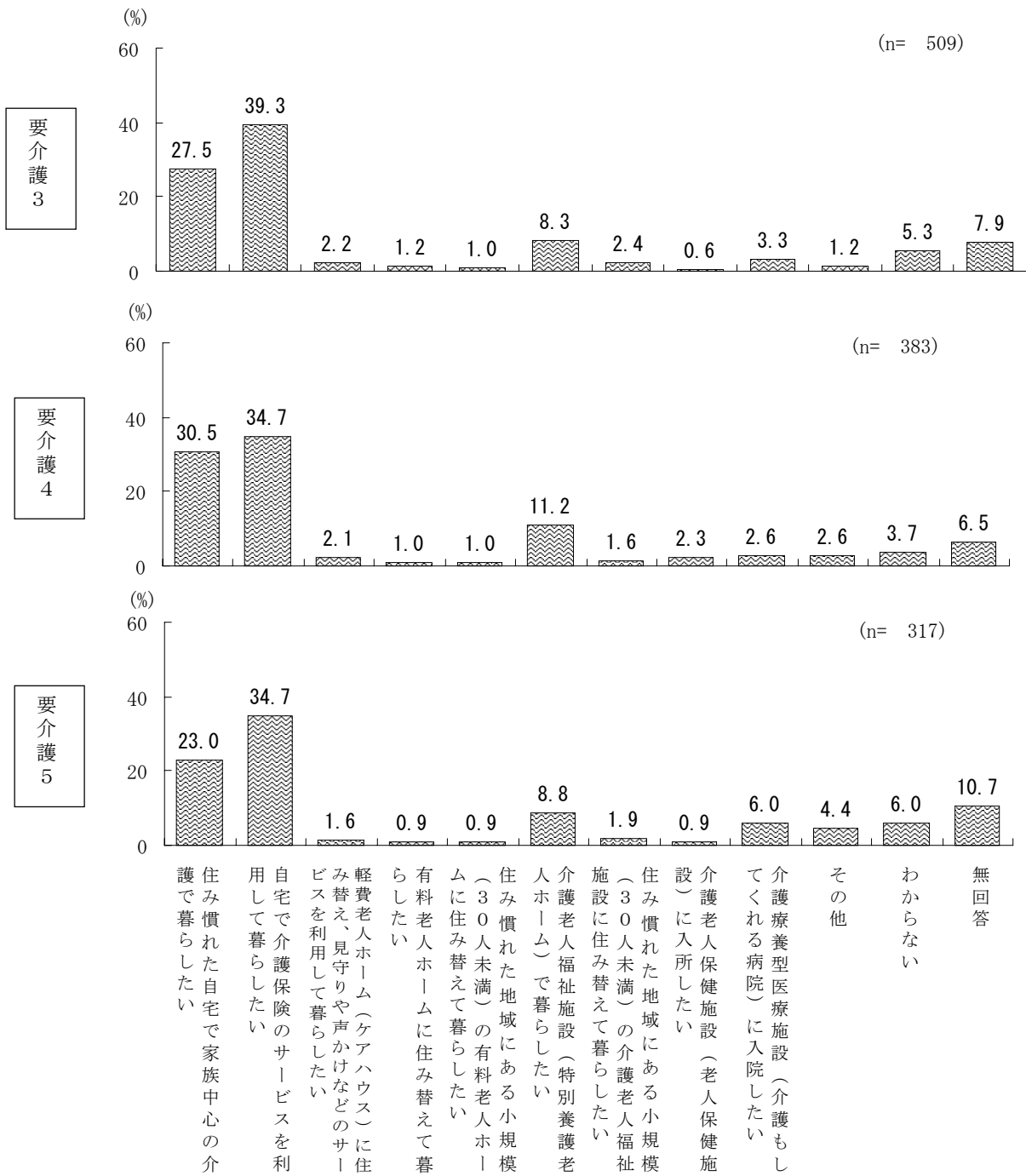


図4-3 要介護度別 今後の生活についての希望（つづき）



介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯では「自宅で介護保険サービスを利用して暮らしたい」が48.2%と、全家族構成の中で最も多くなっている（図4-4）。

図4-4 家族構成別 今後の生活についての希望

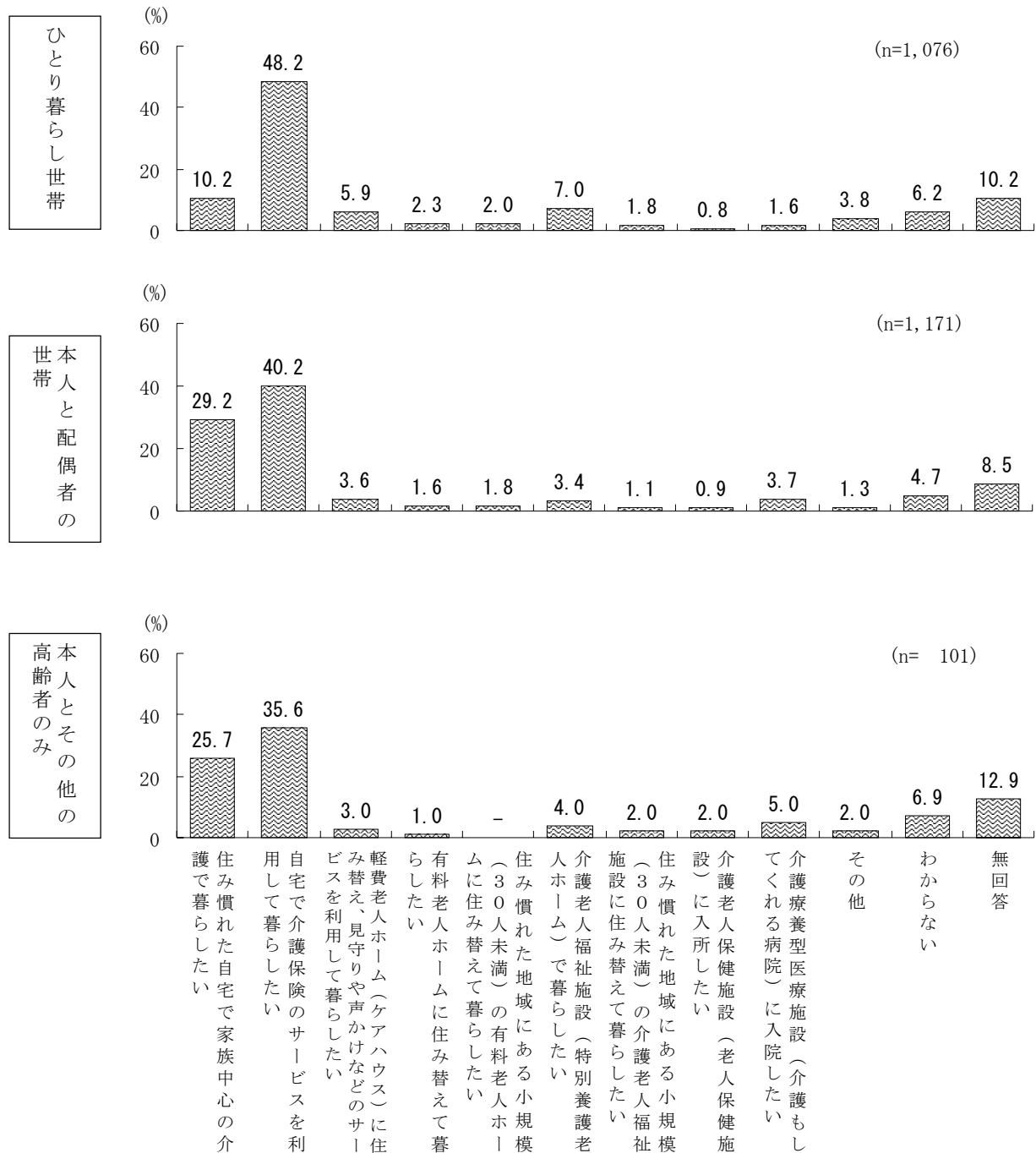
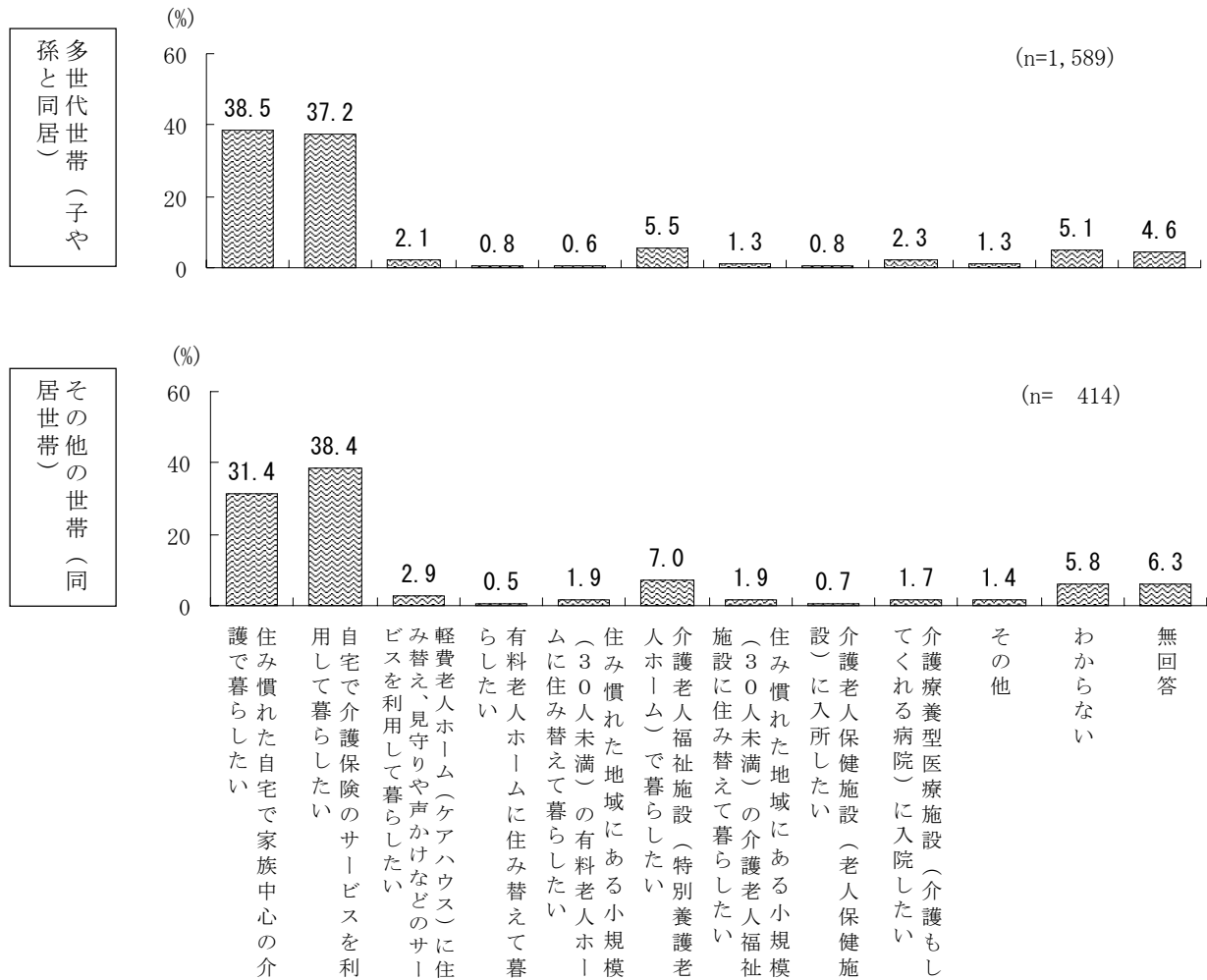


図4-4 家族構成別 今後の生活についての希望（つづき）

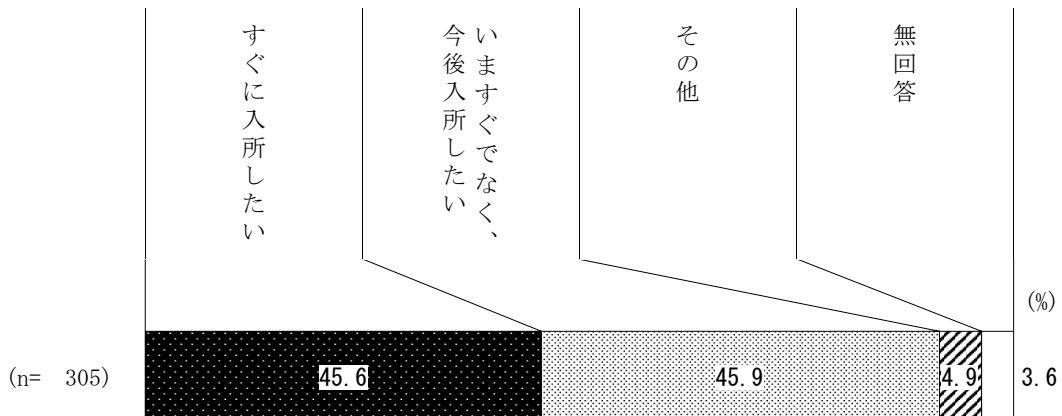


4-2 入所の時期

【問21で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で暮らしたい」、または、「住み慣れた地域にある小規模（30人未満）の介護老人福祉施設に住み替えて暮らしたい」を選んだ方におたずねします。】

問21-1 入所の時期は、どのようにお考えですか。（○は1つ）

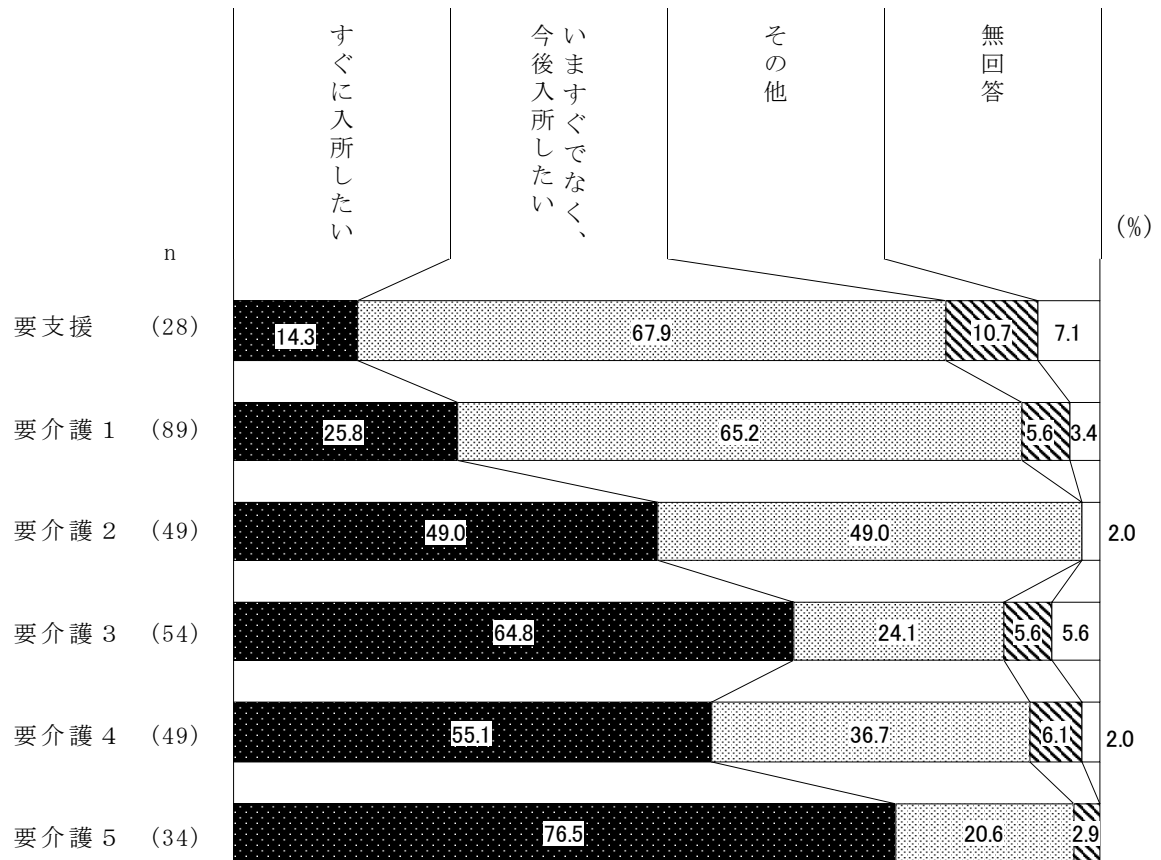
図4-5 入所の時期



「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）で暮らしたい」、「住み慣れた地域にある小規模（30人未満）の介護老人福祉施設に住み替えて暮らしたい」という人（6.9%）に、入所の時期についてきいたところ、「すぐ入所したい」（45.6%）と「いますぐでなく、今後入所したい」（45.9%）に2分している（図4-5）。

要介護度別で見ると、要介護5では「すぐ入所したい」が76.5%を占めているほか、要介護3でも64.8%と多くなっている（図4-6）。

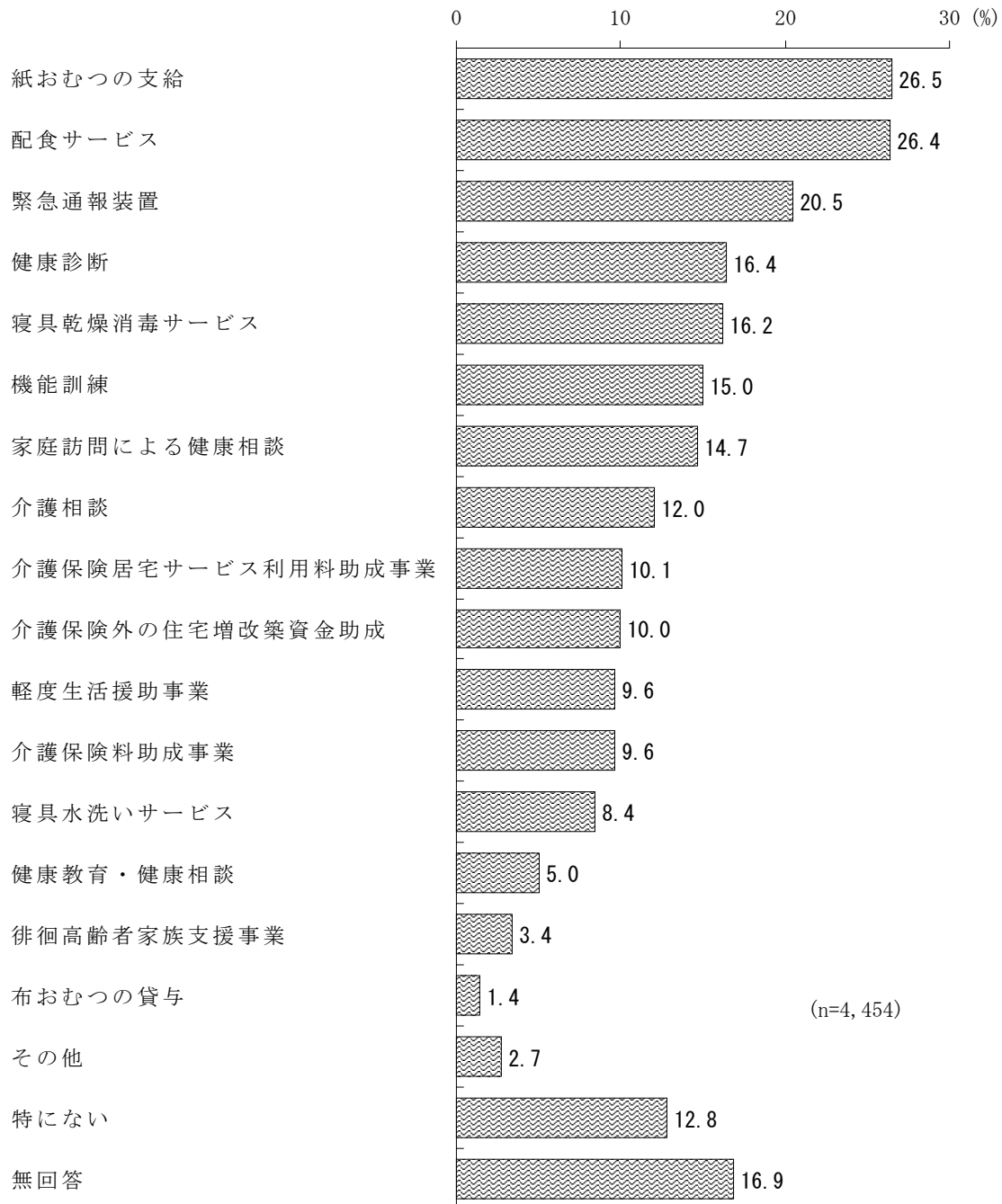
図4-6 要介護度別 入所の時期



4-3 保健・福祉サービスの利用意向

問22 松戸市では、在宅生活を支援するため介護保険サービス以外に次の保健・福祉サービスを実施しています。今後利用したいサービスは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

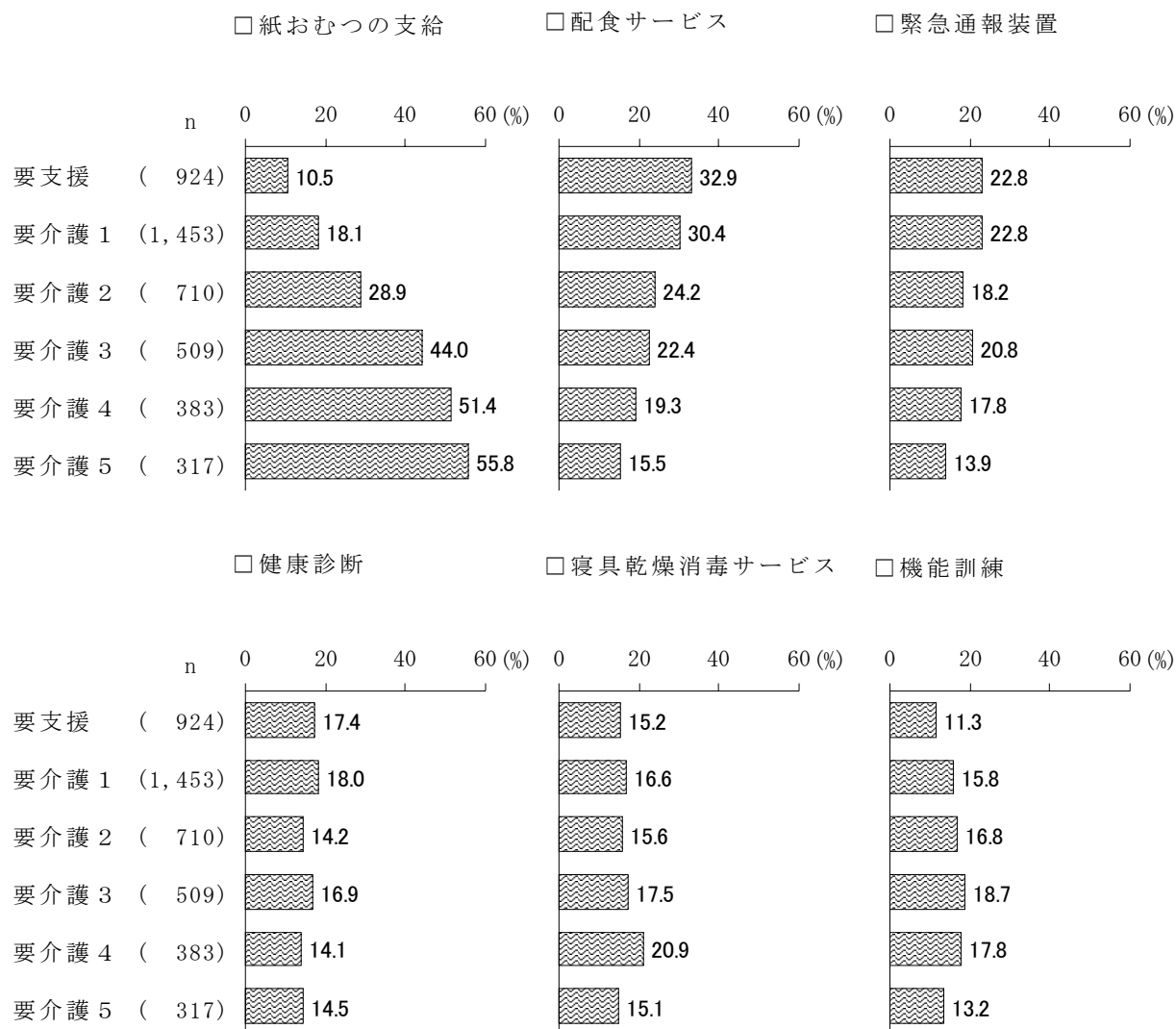
図4-7 保健・福祉サービスの利用意向



保健・福祉サービスの利用意向をみると、「紙おむつの支給」（26.5%）と「配食サービス」（26.4%）が特に多く、以下「緊急通報装置」（20.5%）、「健康診断」（16.4%）、「寝具乾燥消毒サービス」（16.2%）の順で続いている（図4-7）。

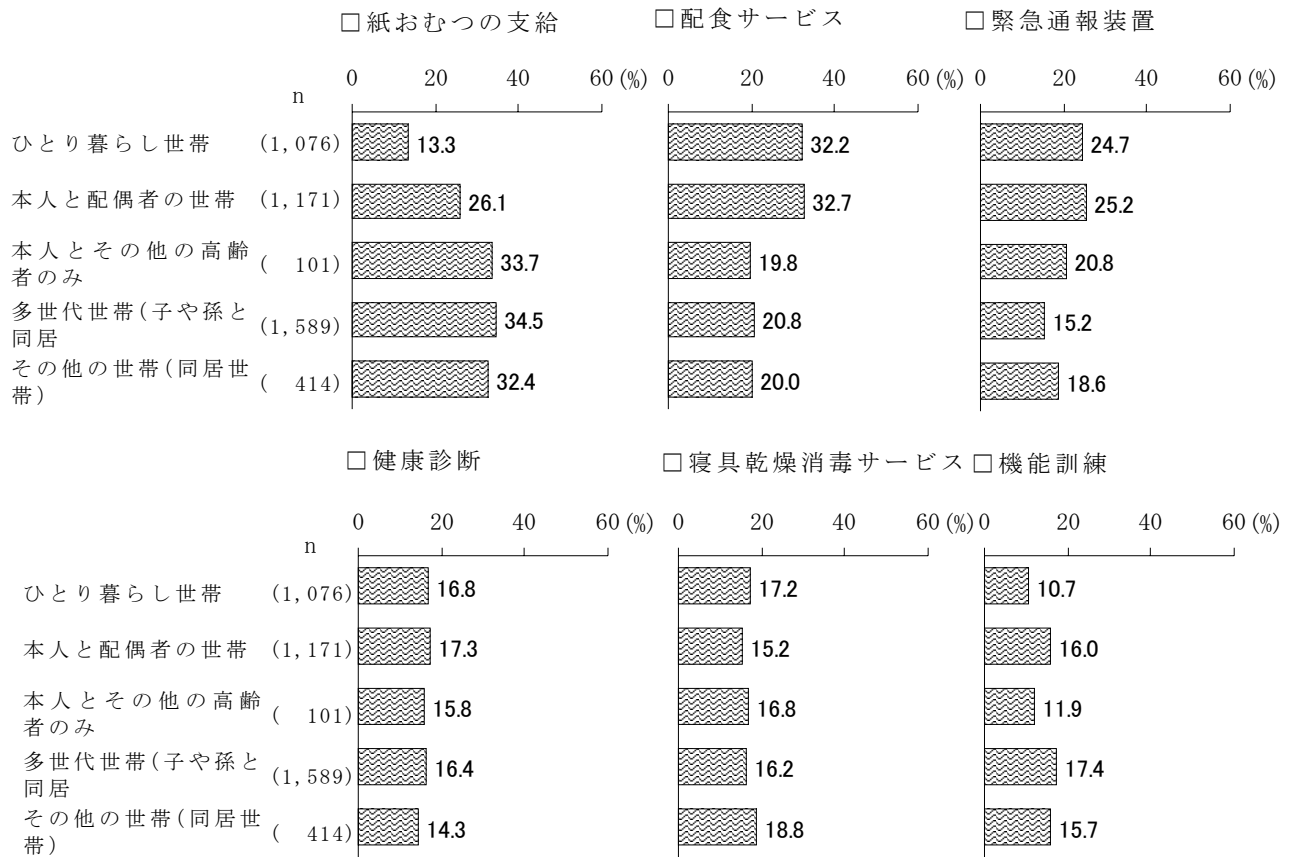
要介護度別で見ると、要支援、要介護1では「配食サービス」が、それぞれ32.9%、30.4%と多くなっている。一方、要介護3以上では「紙おむつの支給」が4割を超え、特に要介護5では55.8%を占めている（図4-8）。

図4-8 要介護度別 保健・福祉サービスの利用意向（上位6項目）



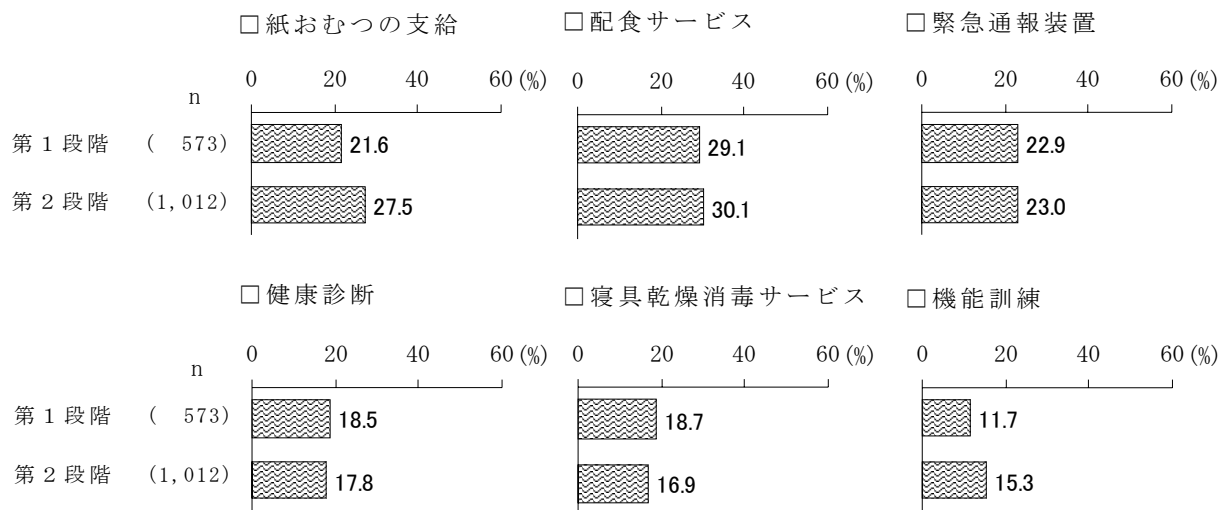
家族構成別で見ると、ひとり暮らし世帯、本人と配偶者の世帯では「配食サービス」が、それぞれ32.2%、32.7%と、他の家族構成よりもやや多くなっている（図4-9）。

図4-9 家族構成別 保健・福祉サービスの利用意向（上位6項目）



保険料段階別（第1段階、第2段階）でも、大きな違いはないが、「紙おむつの支給」では第2段階でやや多くなっている（図4-10）。

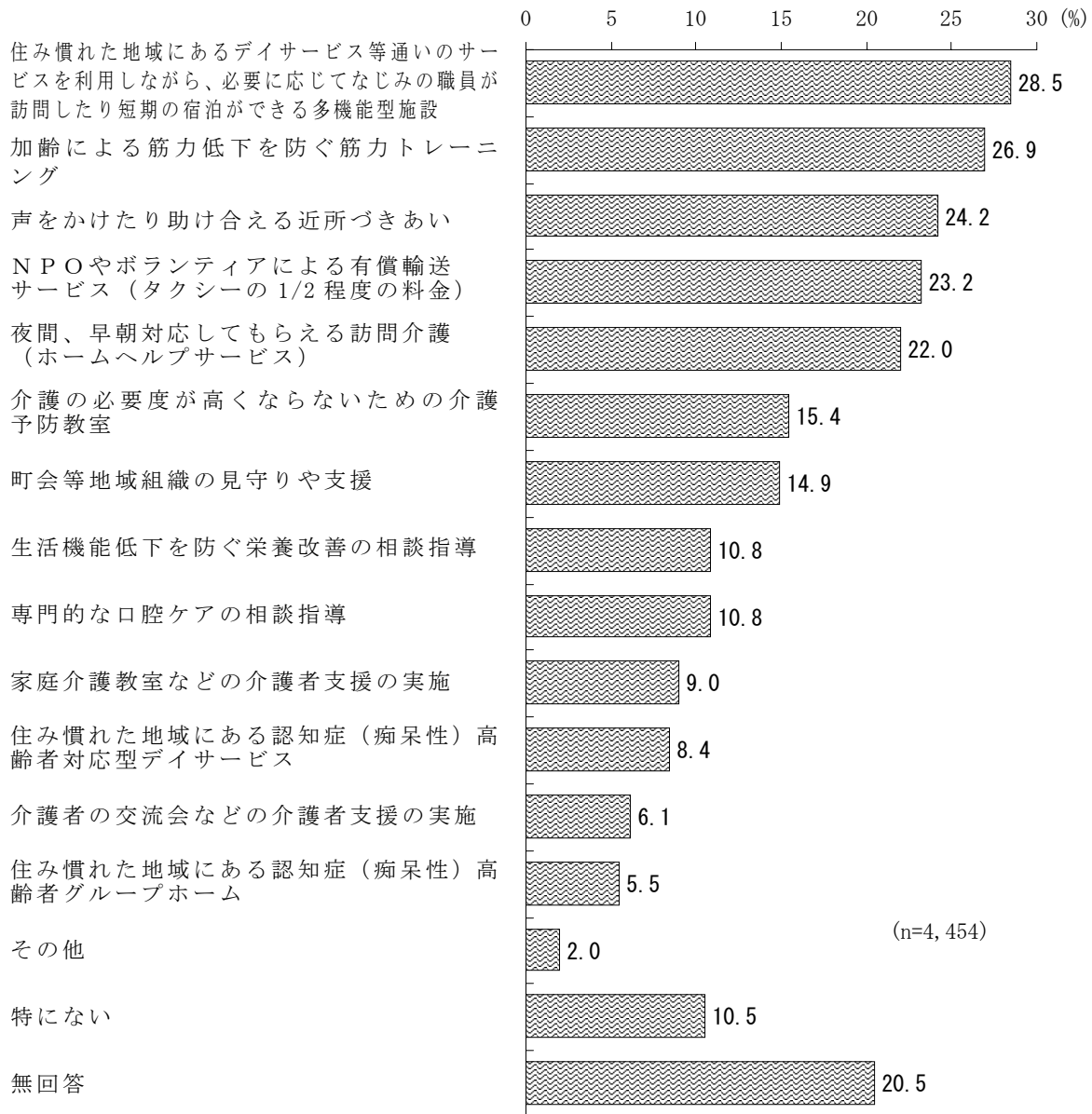
図4-10 保険料段階別（第1段階、第2段階） 保健・福祉サービスの利用意向（上位6項目）



4-4 在宅で生活を続けるために必要なこと

問23 あなたが、在宅で暮らし続けるために、主にどんなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

図4-11 在宅で生活を続けるために必要なこと

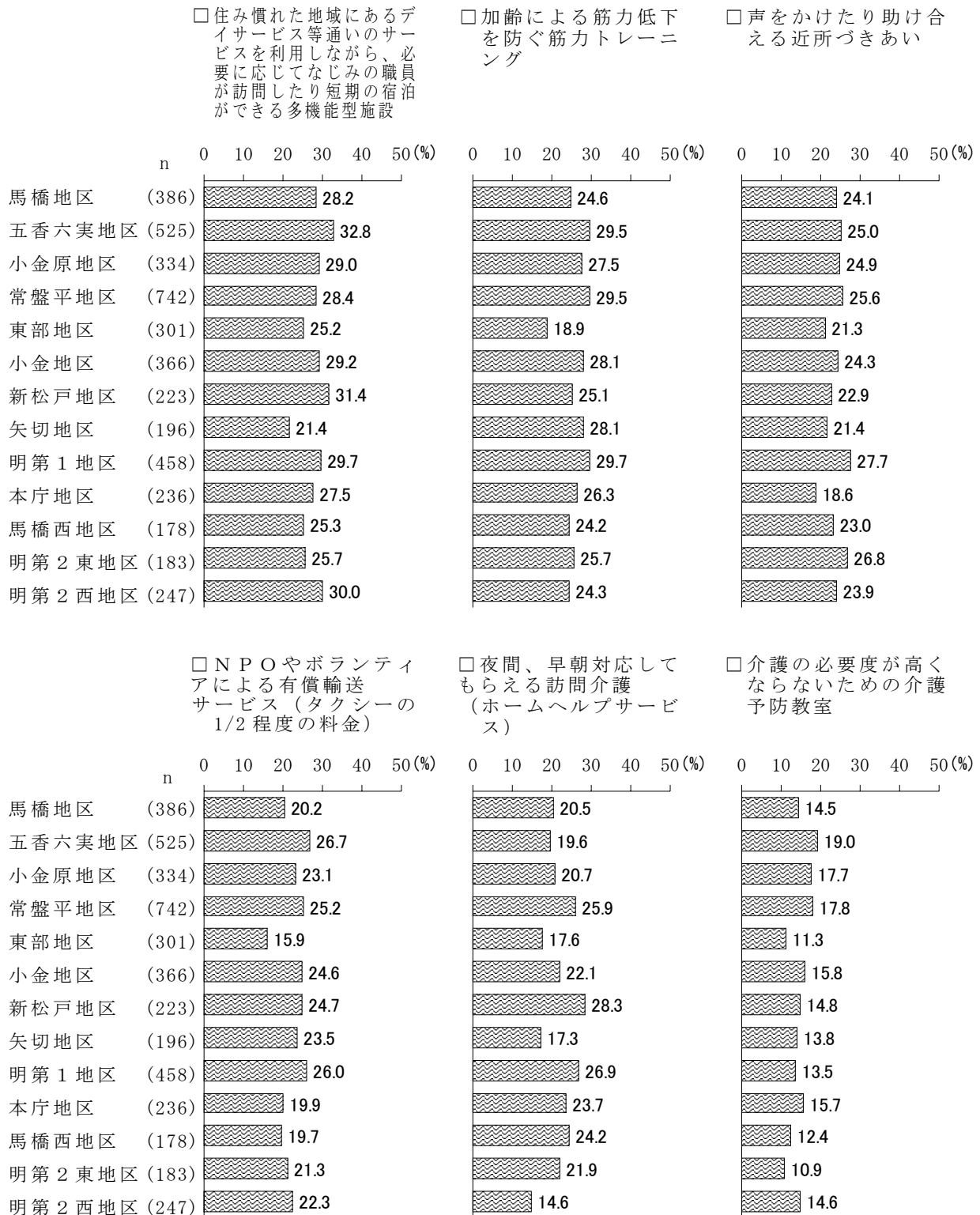


在宅で生活するために必要なこととしては「住み慣れた地域にあるデイサービス等通いのサービスを利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり、短期の宿泊ができる多機能型施設」が28.5%で最も多く、以下「加齢による筋力低下を防ぐ筋力トレーニング」(26.9%)、「声をかけたり助け合える近所つきあい」(24.2%)、「NPOやボランティアによる有償輸送サービス(タクシーの1/2程度の料金)」(23.2%)、

「夜間、早朝対応してもらえる訪問介護（ホームヘルプサービス）」（22.0％）の順で続いている（図4-11）。

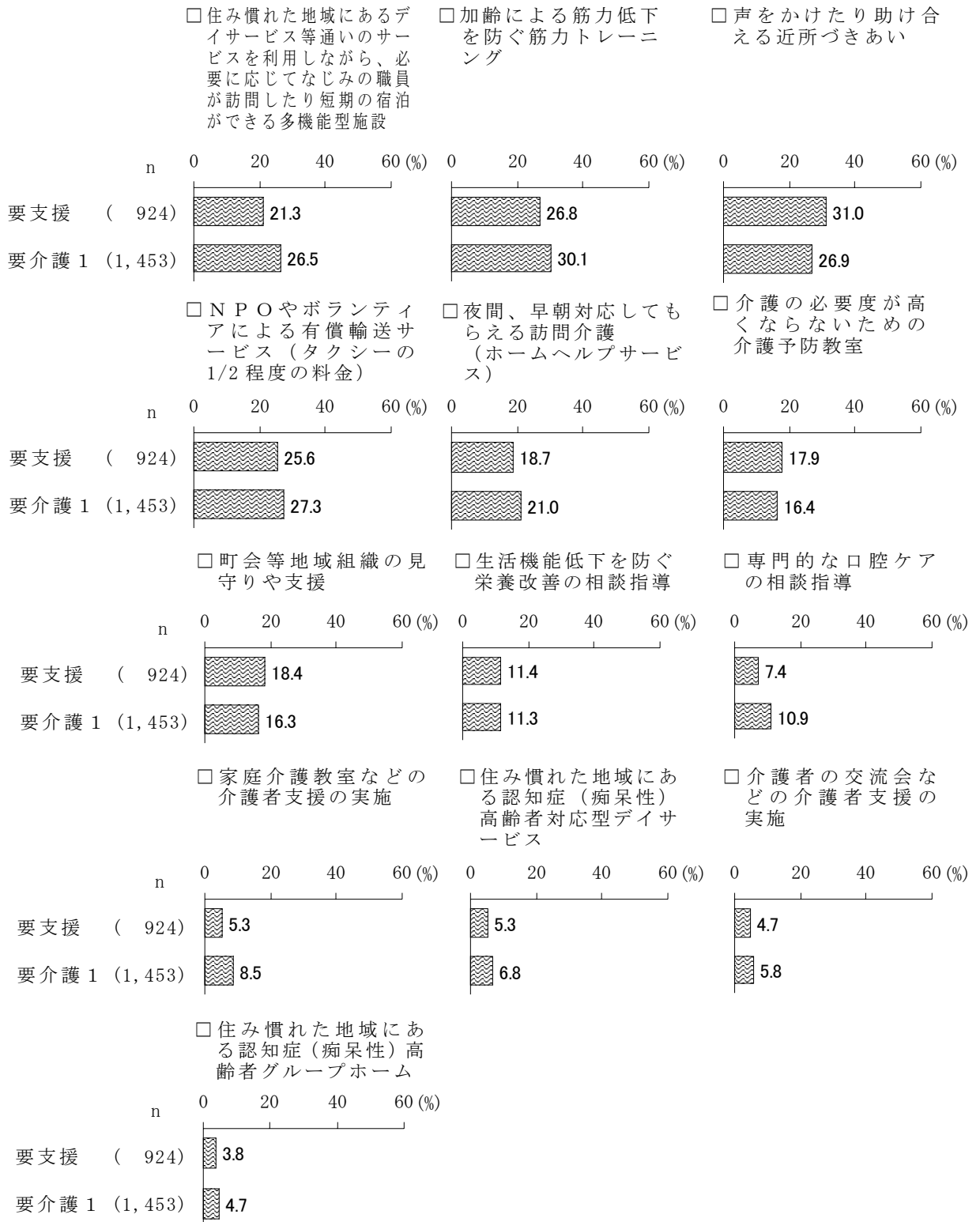
居住地域別では、特に大きな差は見られない（図4-12）。

図4-12 居住地域別 在宅で生活をするために必要なこと（上位6項目）



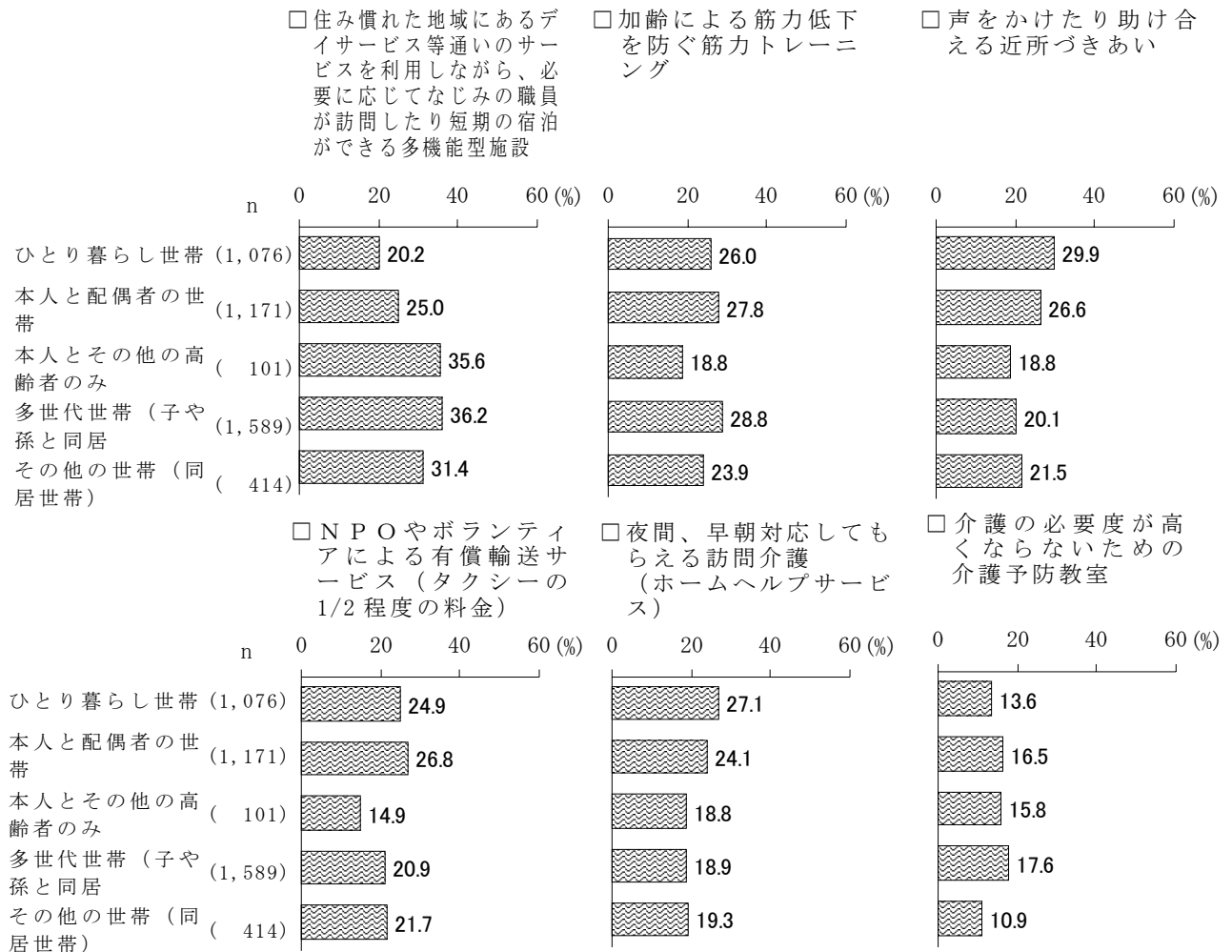
要介護度別（要支援・要介護1）でも、おおむね共通した傾向となっているが、「住み慣れた地域にあるデイサービス等通いのサービスを利用しながら、必要に応じてなじみの職員が訪問したり短期の宿泊ができる多機能型施設」は、要介護1で26.5%と比較的多く、「声をかけたり助け合える近所づきあい」は要支援で31.0%と比較的多くなっている（図4-13）。

図4-13 要介護度別（要支援・要介護1） 在宅で生活をするために必要なこと



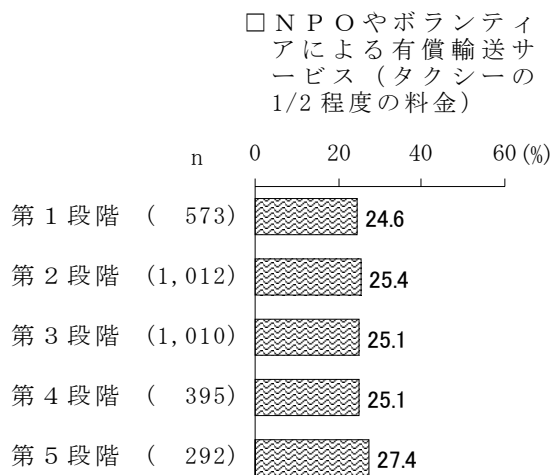
家族構成別でみると、ひとり暮らし世帯、本人と配偶者の世帯では「夜間、早朝対応してもらえる訪問介護（ホームヘルプサービス）」とともに、「声をかけたり助け合える近所づきあい」が比較的多くなっている点が特徴的である（図4-14）。

図4-14 家族構成別 在宅で生活をするために必要なこと（上位6項目）



「NPOやボランティアによる有償輸送サービス（タクシーの1/2程度の料金）」を保険料段階別でみると、差はない（図4-15）。

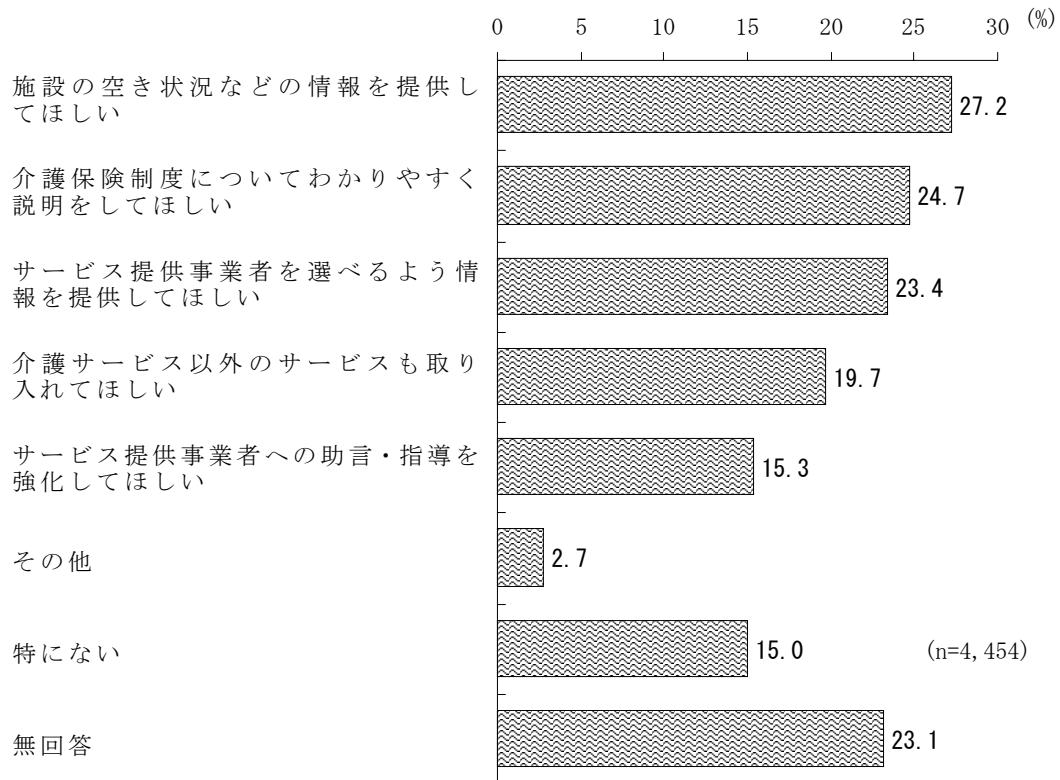
図4-15 保険料段階別 在宅で生活をするために必要なこと



4-5 介護保険サービスで市に期待すること

問24 今後の介護保険サービスについて、市に期待することは何ですか。
 (〇は3つまで)

図4-16 介護保険サービスで市に期待すること

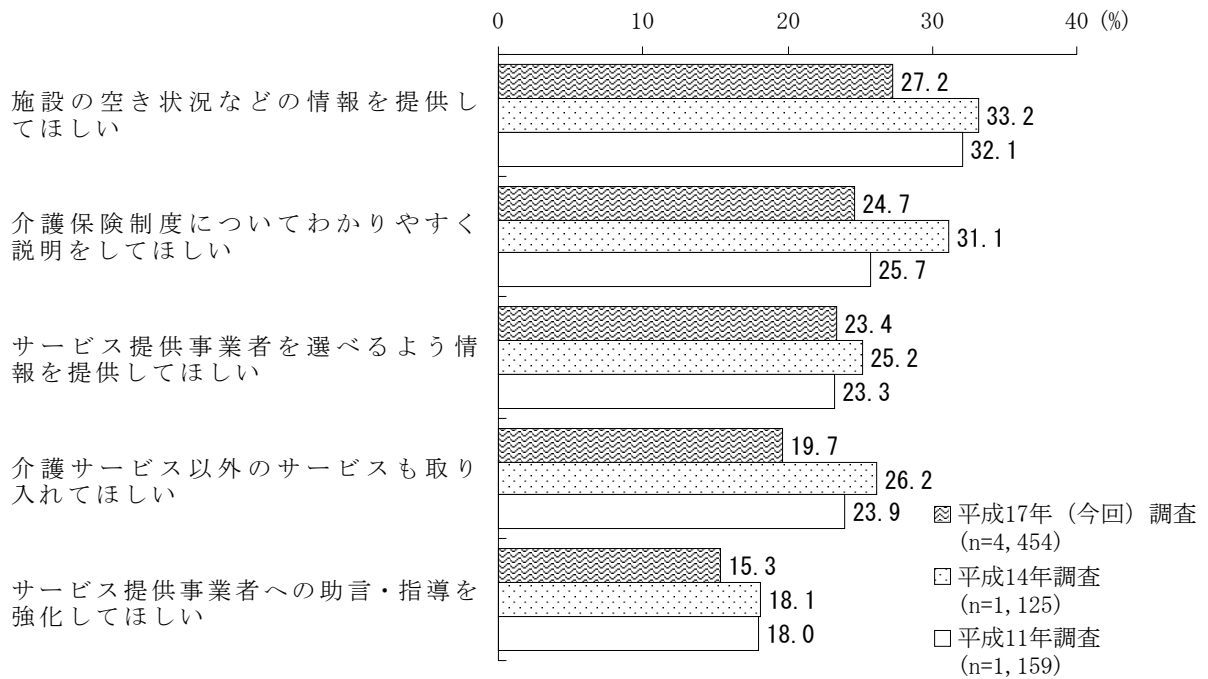


介護保険サービスについて、市に期待することとしては「施設の空き状況などの情報を提供してほしい」が27.2%で最も多く、以下「介護保険制度についてわかりやすく説明してほしい」(24.7%)、「サービス提供事業者を選べるよう情報を提供してほしい」(23.4%)の順で続いている(図4-16)。

介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

経年比較でみると、順位に大きな違いはみられない。なお、前回調査（平成14年）、前々回調査（平成11年調査）より全体的に数値が下回っているが、これは今回調査で「特になし」が15.0%を占めている点も影響していると思われる（図4-17）。

図4-17 経年比較 介護保険サービスで市に期待すること

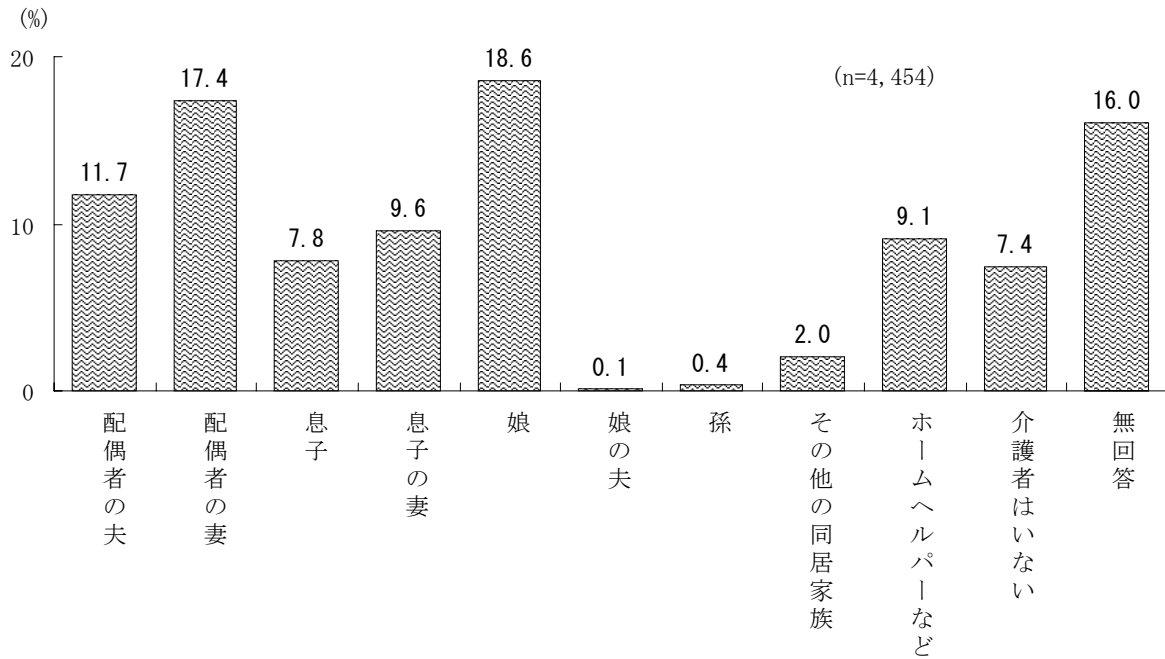


5. 主な介護者の状況

5-1 主な介護者

問25 ご家庭で主に介護している方はどなたですか。（○は1つ）

図5-1 主な介護者



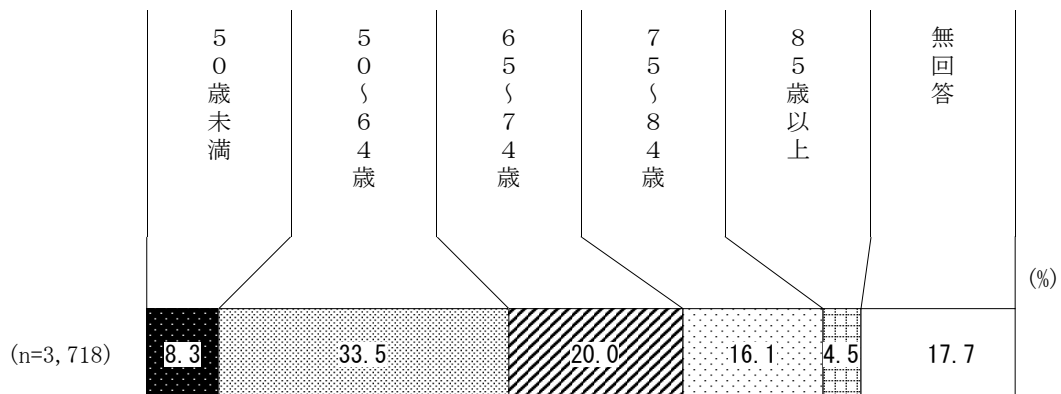
主な介護者としては「配偶者の妻」（17.4%）と「娘」（18.6%）が多くなっている（図5-1）。

5-2 主な介護者の年齢

【問26以降は、できるだけ主な介護者の方がお答えください。】

問26 主な介護者の年齢についてお答えください。

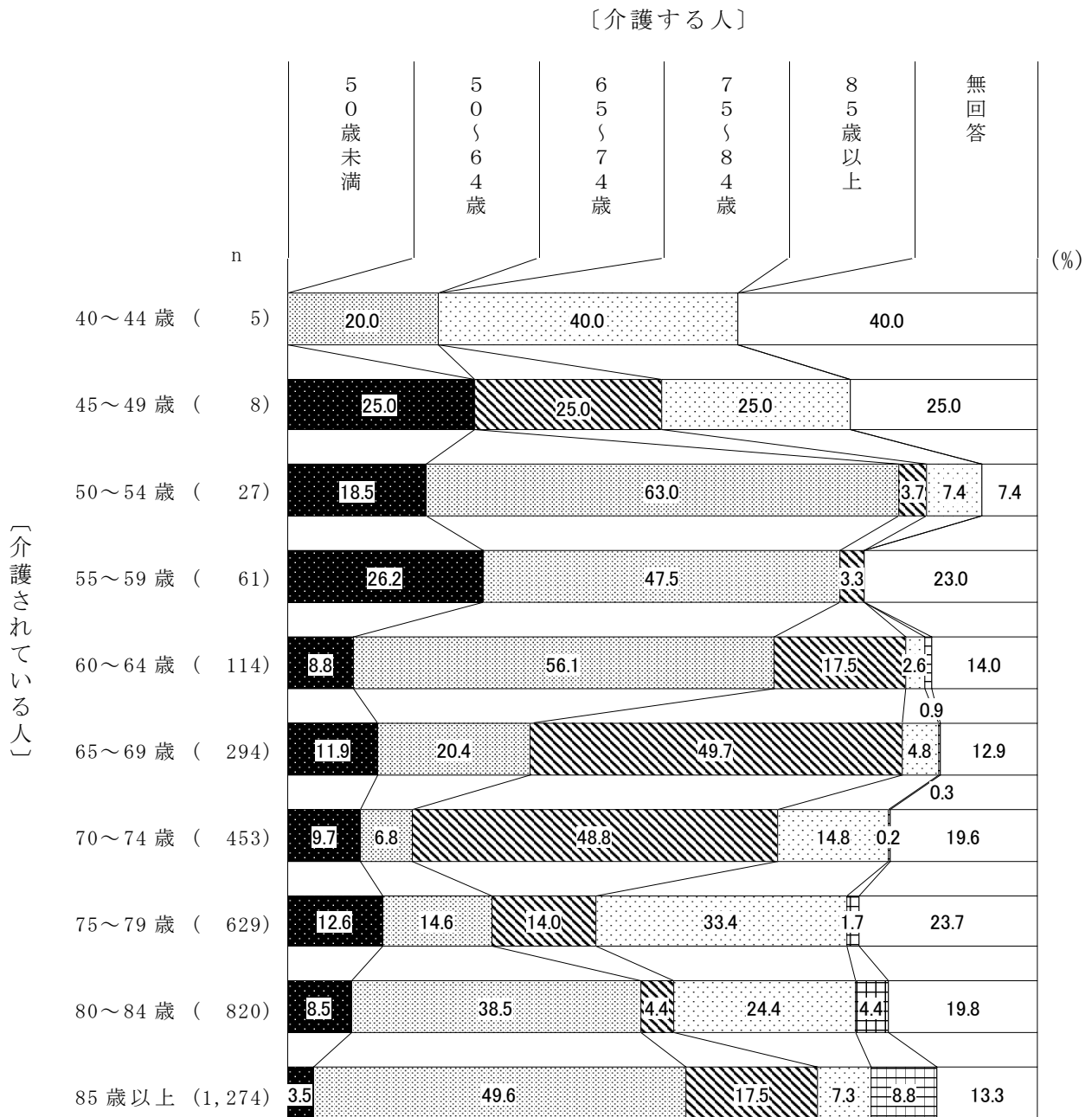
図5-2 主な介護者の年齢



主な介護者の年齢としては「50～64歳」が33.5%で最も多く、これに「65～74歳」(20.0%)が次いでいる(図5-2)。

年齢別で見ると、介護されている人の年齢が75～79歳の場合では、主な介護者も「75～84歳」という回答が33.4%を占めている。また、介護されている人の年齢が80～84歳、85歳以上では、主な介護者の年齢が「50～64歳」という回答が、それぞれ38.5%、49.6%と多くなっている(図5-3)。

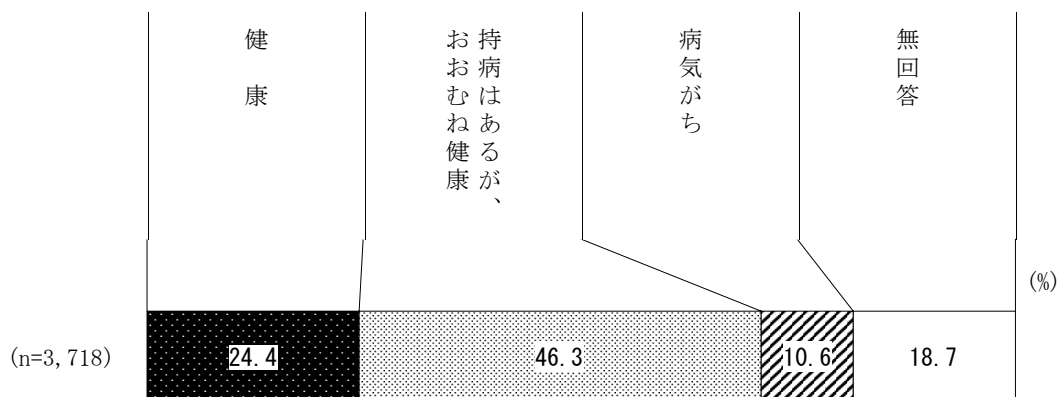
図5-3 年齢別 主な介護者の年齢



5-3 主な介護者の健康状態

問27 主に介護している方の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

図5-4 主な介護者の健康状態

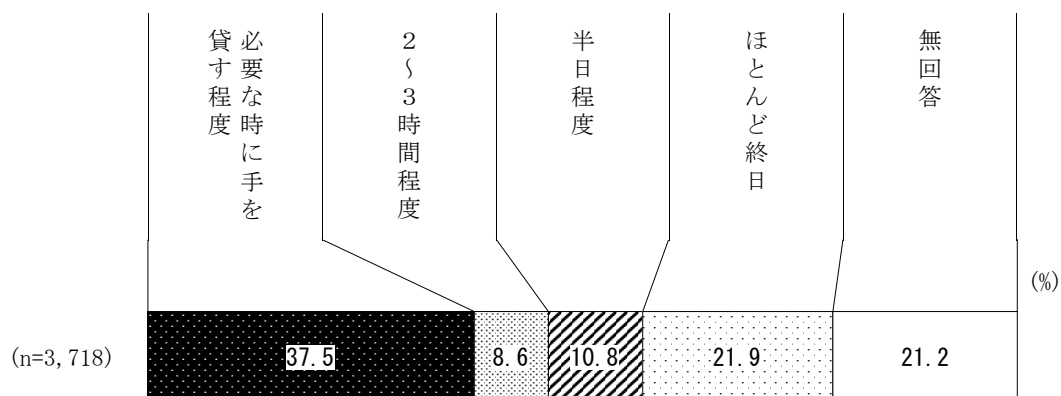


主に介護している人の健康状態は「健康」が 24.4%で、これに「持病はあるが、おおむね健康」(46.3%) を合わせた「健康である」は 70.7%を占めている。一方「病気がち」は 10.6%である (図 5-4)。

5-4 1日あたりの介護時間

問28 見守りを含め、介護している時間は、1日のうちどのくらいですか。
（○は1つ）

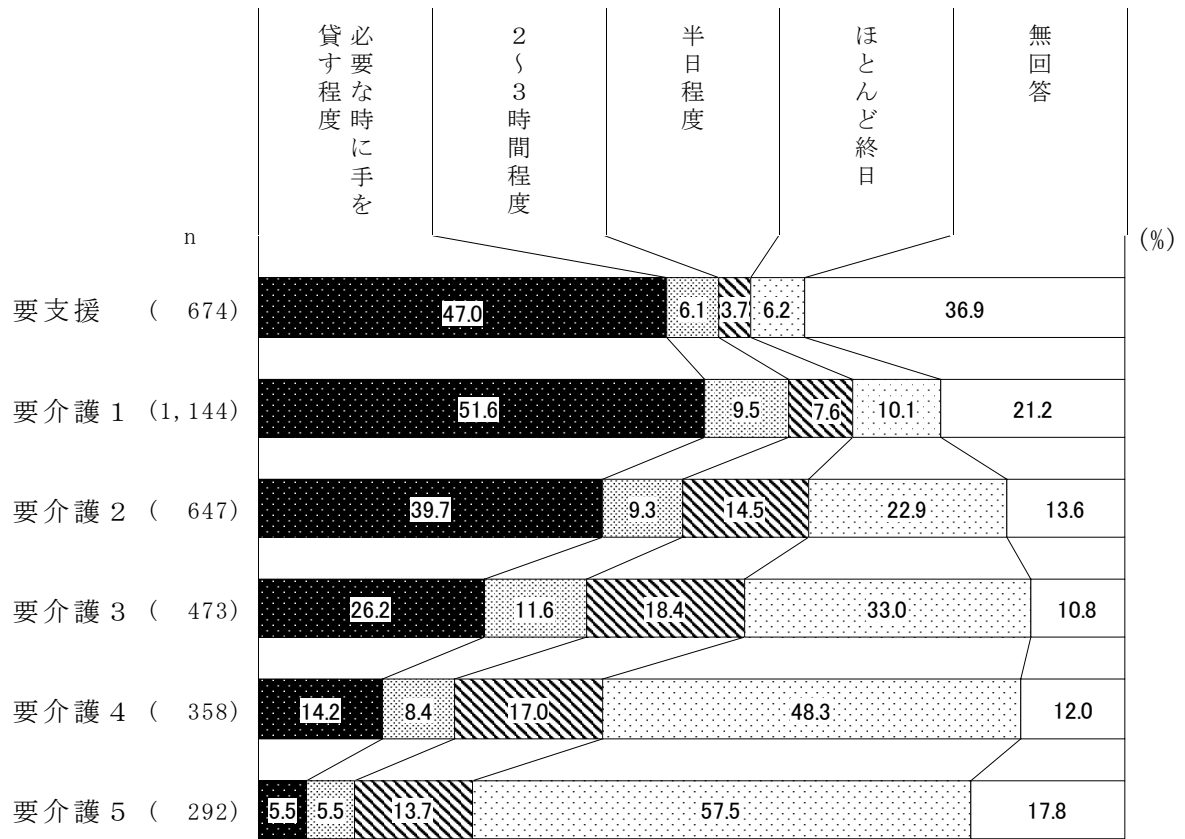
図5-5 1日あたりの介護時間



介護している時間は、「必要な時に手を貸す程度」が37.5%と4割近くを占めている。一方、「ほとんど終日」という人も21.9%を占めている（図5-5）。

要介護度別で見ると、要支援、要介護1では「必要な時に手を貸す程度」が、それぞれ47.0%、51.6%と多くなっている。一方、要介護度2以上になると、「ほとんど終日」が増加し、要介護5では57.5%に達している（図5-6）。

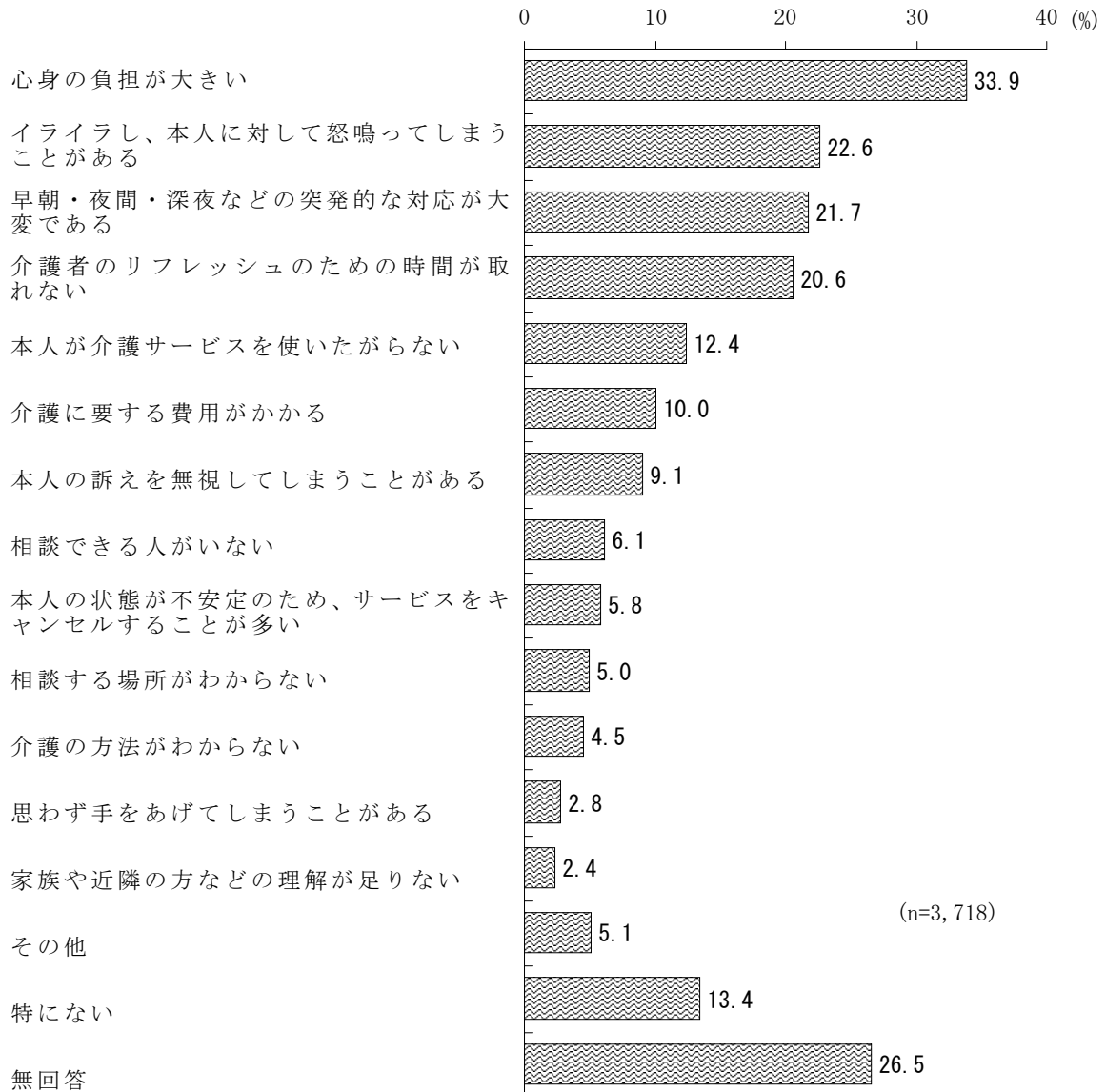
図5-6 要介護度別 1日あたりの介護時間



5-5 介護を行う上で困っていることや悩んでいること

問29 主に介護している方が、介護を行う上で困っていることや悩んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

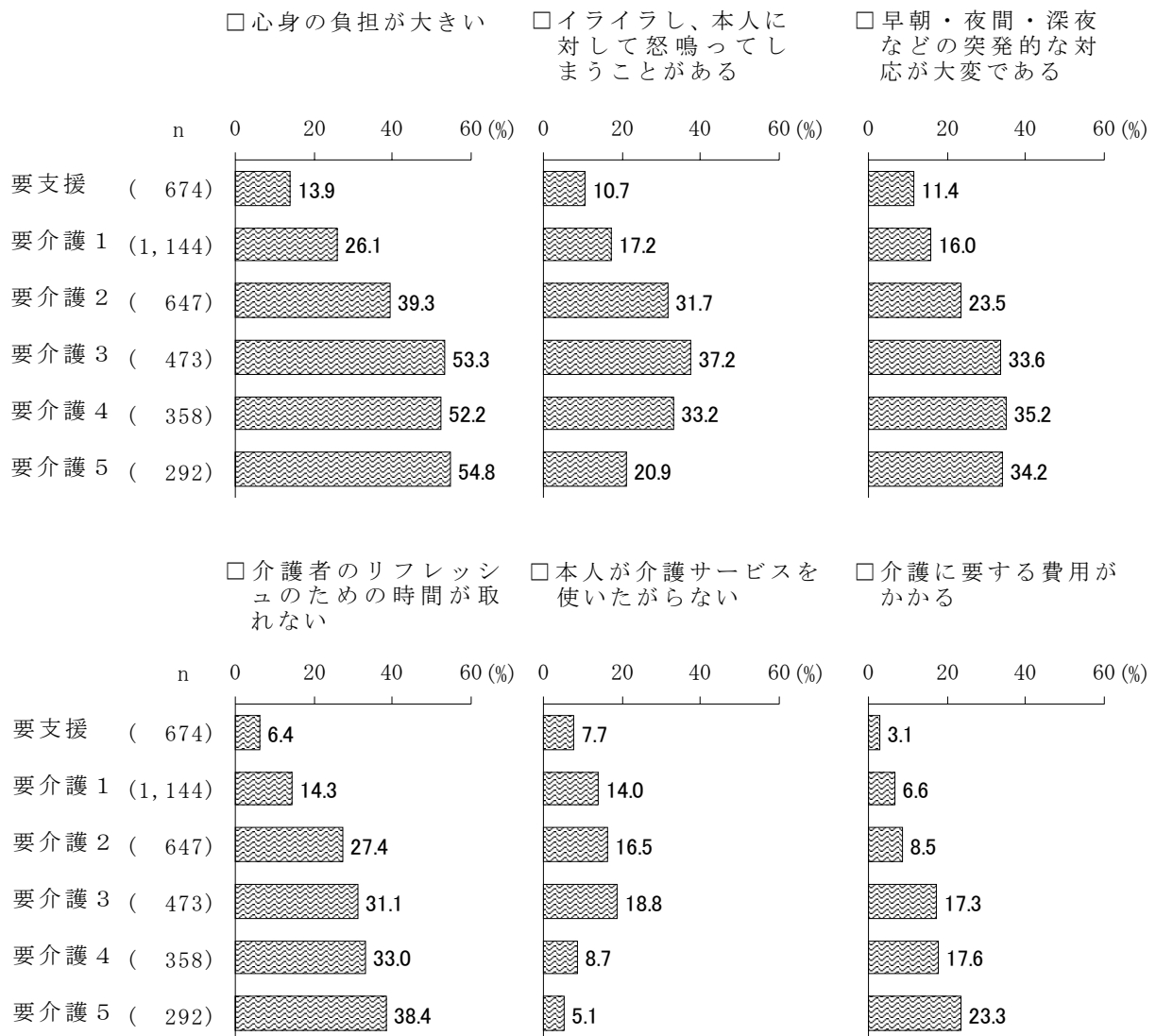
図5-7 介護を行う上で困っていることや悩んでいること



介護を行う上で、困っていることや悩んでいることとしては「心身の負担が大きい」が33.9%で最も多く、以下「イライラし、本人に怒鳴ってしまうことがある」(22.6%)、「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」(21.7%)、「介護者のリフレッシュのための時間がとれない」(20.6%)の順で続いている(図5-7)。

要介護度別で見ると、要介護3、要介護4、要介護5では、いずれも「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」と「介護者のリフレッシュのための時間がとれない」が3割以上、「心身の負担が大きい」が5割以上となっており、介護する家族にかかる負担の重さがうかがえる（図5-8）。

図5-8 要介護度別 介護を行う上で困っていることや悩んでいること（上位6項目）



6. 自由意見

介護保険サービスを利用しての感想や市の保健・福祉サービスについて意見をうかがったところ、1,853件の貴重な意見をいただいた。1人で2つ以上の内容を回答している場合もあるため、延べの件数となる。

介護保険制度	906件
・ サービスや福祉に支えられて助かっている あつてよかった感謝（251） 精神・身体負担が軽減された（205） 本人の状態が良くなった（154） 自分の時間とれる（54）	746 経済的に助かっている（44） 制度は継続を（16） 送迎・移動面で助かっている（14） 配食サービスありがたい（8）
・ サービスの利用料金が低い	45
・ 介護認定審査基準の見直し、改善を望む	38
・ 少ない収入から介護保険料を支払うのは苦しい	25
・ 利益追求だけのビジネスになることのないよう、事業所の評価・監視に努めてほしい	18
・ 不平等、不公平が感じられるため、制度を見直し、よりよくしてほしい	9
・ 無駄な制度だと思う	9
・ サービスの過剰提供もいかなものか	4
・ 認定審査結果をもっとスピーディにしてほしい	3
・ 認定審査手続きの簡素化をしてほしい	3
・ 介護保険内のサービスを利用した場合は、利用内訳の通知がほしい	2
・ 認定者もモラルをもって利用をするべきだ	2
・ サービス利用料は必要経費に認めてほしい	1
・ 介護保険料段階区分の見直しをしてほしい	1

サービス	407件
・ ヘルパーの質の向上をしてほしい	60
・ 緊急な場合サービスがすぐ利用できるようにしてほしい	45
・ デイサービス・訪問サービスの充実をしてほしい	35
・ 施設サービスの充実や、待たずに入所できるよう施設をつくってほしい	33
・ 配食サービスの充実をしてほしい	29
・ 介護に携わる人の教育指導や講座を実施してほしい	27
・ サービスの利用時間・回数に融通をもたせてほしい	25
・ オムツ支給の充実をしてほしい	24
・ ケアマネジャーの質の向上をしてほしい	23
・ 送迎サービスの充実をしてほしい	19

介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

・ サービス利用条件の内容に制約がありすぎる	18
・ 福祉用具貸与、介護用品を利用しやすくしてほしい	16
・ 申し込んだら、すぐに利用できるようにしてほしい	12
・ 入浴サービスの充実をしてほしい	9
・ サービス利用時の手続きを簡単にしてほしい	8
・ ショートステイの充実をしてほしい	8
・ 緊急通報システムの設置をしてほしい	6
・ サービスメニューの充実をしてほしい	6
・ サービスが必要だとしても、他人が家の中に入ることには抵抗がある	2
・ 地域福祉権利擁護事業の充実をしてほしい	2

福祉一般

172件

・ 市の福祉行政の充実をしてほしい	58
・ 介護に対する不安が大きい	38
・ 介護者のケアを実施してほしい	25
・ 高齢者や社会弱者にとって、やさしい住みやすいまちをつくらせてほしい	11
・ 今後、ますます介護保険と障害者福祉の連携が必要になる	10
・ 他の国や自治体のよいところを取り入れ、他に誇れるような福祉行政になることを期待する	8
・ 家族介護者への報酬も検討してほしい	6
・ 自立のための支援策を検討してほしい	5
・ (すでに発症している) 認知症の対策に力を入れてほしい	3
・ 自立のための支援策を検討してほしい	3
・ 介護の基本は家族介護から	3
・ 高齢者の買い物先での宅配サービス無料化を実施してほしい	1
・ 近隣市町村と連携した広域福祉行政の実施をしてほしい	1

行政

60件

・ 職員は親身な対応をしてほしい	21
・ ひとり暮らし高齢者に対するケアが必要だ	17
・ 書類等の手続きの簡素化を願う	11
・ 税金が高い。有効に使われることを願う	7
・ 介護保険等の勉強会を開いてほしい	1
・ ゴミ出しをするのが大変なので、自宅前に回収にきてもらえるようにできないか	1
・ 学校の空き教室利用など既存施設の再利用を検討すべきだ	1
・ 介護は重労働なので、携わる人々への報酬は十分に上げてほしい	1

保健・医療

62件

・できるだけ自分でできる範囲のことをするなどして体を動かし、これ以上悪くならないよう自助努力もするべきだ	16
・介護保険サービスと医療機関の連携が必要だ	11
・医療費が高いので、補助や軽減をしてほしい	9
・市内の医療機関の充実をしてほしい	7
・訪問医療の充実をしてほしい	7
・寝たきりや認知症にならないための予防施策を検討してほしい	6
・夜間、緊急医療体制の充実をしてほしい	3
・3ヵ月～半年を限度とする病院の転院が経済的・身体的に負担だ	2
・終末医療施設の充実	1

情報・相談

80件

・各種メディアを利用した積極的なサービスのPRをしてほしい	58
・相談体制の充実をしてほしい	17
・高齢者に対してどのような福祉があるのか情報提供をしてほしい	4
・訪問相談の実施をしてほしい	1

移動・交通

44件

・タクシー券の配布や交通費の補助をしてほしい	20
・介護タクシーの充実	16
・安価な外出支援のサービスがあるとよい	3
・市内交通網の整備をしてほしい	2
・循環バスやコミュニティバスの充実をしてほしい	2
・ノンステップバスの普及をしてほしい	1

まちづくり

17件

・安心して歩ける道路・歩道の整備をしてほしい	5
・災害時、避難の不安がある	5
・バリアフリーに徹したまちづくりの推進をしてほしい	4
・駅に昇降機（特に下り）を設置してもらえるよう働きかけてほしい	2
・歩道に自転車を走らせないでほしい	1

交流・活動

13件

・文化施設等の増設など生きがいにつながる場や機会を提供してほしい	6
・高齢者同士が気軽に集まることのできる機会や場の提供をしてほしい	4
・地域の住民が高齢者を見守るシステムを確立してほしい	2
・地域交流の窓口となるものがほしい	1

介護保険要介護（要支援）認定者調査結果

住居	40件
・安価に入所できる高齢者用の施設、公営住宅を充実してほしい	26
・住宅改修をしたい、改修の助成をしてほしい	9
・家賃の助成をしてほしい	4
・安価な住宅改修業者を紹介してほしい	1

アンケートに対する意見	20件
・高齢者を対象にした調査としては複雑で、記入量も多い	13
・紙ではなく、ヒアリングで調査を実施するべきだと思う	3
・調査結果を施策に反映してほしい	3
・アンケートは無駄だと思う	1

その他	32件
・今後利用してみたい	18
・その他	8
・この先の生活が不安だ	6

III 調査票

